

平成 28 年 10 月 13 日

## 平成 28 年第 3 回都議会定例会を終えて（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 高木 けい

第三回定例会は、知事提出議案三十件について入念な審査を行い、全議案を議決して、本日終了いたしました。

本定例会は、小池知事が招集した初めての議会ですが、我々都議会自民党は、これまでどおり協力すべきは協力し、より良い政策実現へ切磋琢磨し、都民の代表として、都民の与党として、山積する課題を一つ一つ迅速・的確に解決していく努力を惜しむものではありません。

知事が主張する「都民ファースト」と、我々が日頃表明している「都民の与党」とは、その意味するところは同じであり、二元代表制における是々非々の立場を堅持し、今定例会の質疑に臨みました。

まず、豊洲新市場の問題についてです。

このたび発覚した豊洲新市場の地下空間問題は、過去 30 年以上にわたる長年の関係者の努力を無にする、都政の重大な不祥事であります。市場当局職員のみならず、都の執行機関全体に猛省を求めるとともに、今後はより正確な情報を、適時適切に議会に報告するよう厳格に求めました。

一方で、議会の調査力を問題視する声に、私たちは謙虚に耳を傾けなくてはなりません。この度のことを、今後の厳しい教訓にし、初心にかえり、豊洲新市場の安全性をただすとともに、何よりも都民や市場関係者の安心を確保することに全力を傾注してまいります。

信頼の回復は容易に成し遂げられるものではありません。今後の豊洲新市場の安全性の検証状況などについて、全庁的な協力体制のもと、一元的で正しい情報を責任を持って発信し、都民の不安、不信の払しょくに全力を尽くすよう、都にも強く求めました。

次に、少子高齢化対策についてです。

都は、待機児童解消に向けた緊急対策と、それに基づく補正予算案を提出しました。今後、来年度予算に向け、国の動向なども踏まえながら、都としての更なる待機児童対策強化を求めるとともに、あわせて高齢者施策についても、大都市東京にふさわしい地域包括ケアシステムの構築に向けて、取組の一層の充実を求めました。

次に、2020年（平成32年）オリンピック・パラリンピック競技大会についてです。

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会が終了し、東京は、四年後に向け、いよいよ大会準備を加速していくべき重要な時期に立ちました。

なかでもパラリンピック競技については、大会開催に向けた気運を醸成するとともに、高齢者や障害者にやさしい誰もが住みやすい街づくりを力強く進めていくことが重要です。知事は、「アクセシビリティ・ガイドライン」を十分踏まえながら、ユニバーサルデザインのまちづくりを推し進めると答弁しましたが、より高いレベルのユニバーサルサービスの実現に向けた取組を強く求めました。

また、都は文化プログラムの展開に当たり、都庁が一丸となって取組を進めるとともに、国や組織委員会、被災地など全国各地とも協力し、東京・日本の芸術文化の魅力を世界へと発信していく方針を示しました。多彩で奥深い東京・日本の芸術文化の発信力を高め、世界にアピールしていくため、積極的な都の取組推進を求めました。

次に、知事提出の「東京都知事の給料等の特例に関する条例」についてです。

我が党は、今回の知事の給与減額に対し、反対するものではありません。その上で、代表質問でも申し上げたとおり、恣意的な給与設定を避けるという観点から、報酬等審議会に諮問した上で実施する方法もあったのではないかと考えます。

なお、知事給与と制度の異なる議員報酬について検討するのであれば、身分、費用弁償等も含め、同審議会等の意見を聞いた上で、「都議会のあり方検討会」のテーマとすべきことを申し述べます。

ところで、本定例会では、我が党が提出した「北朝鮮による核実験及びミサイル発射に対する抗議決議」及び「私学振興に関する意見書」、「次期介護保険制度改正における福祉用具貸与等の給付の見直しに関する意見書」、「パリ協定の早期批准に関する意見書」が採択されました。

我が国を巡る内外の諸情勢への的確な対応や、少子高齢化対策の一層の推進へ向け、執行機関と議会が一体となって、積極的に国に対応を求めてまいります。

最後に、豊洲新市場につきましては、所管の経済港湾委員会で9月6日、7日と集中的に審議してまいりましたが、更に、食の安全、安心を厳しく追求していく必要があることから、我が党は、23名からなる「豊洲市場移転問題特別委員会」を設置するよう提案し、可決されました。

なお、共産党が単独で提出した百条委員会設置に関する動議については、専門家会議の再調査による科学的知見などに基づき、まずは本特別委員会において 広範かつ正確な情報により、徹底的に集中審議を行うべきであり否決されました。

今後は、経済港湾委員会及び本特別委員会の権能を最大限に発揮して、閉会中も継続調査とし、議会のチェック機能を十二分に果たしてまいります。

都政の区切りである2020年まであと4年。東京都議会自由民主党は、その限られた時間の中で、都議会第一党としての役割を精一杯果たしていくことをお約束申し上げます。